

# 2022年7月期 第2四半期 決算説明会資料

株式会社バルニバービ

証券コード3418



BALNIBARBI

**2022年7月期 第2四半期業績は、売上高 4,877百万円、営業損失285百万円  
親会社株主に帰属する四半期純利益は478百万円。**

**売上高（対前年同四半期増減率 10.1%増）**

- ・既存店の業績の堅調な推移及び堅調な推移と販売用不動産の売却により、売上高は対前年同四半期増減率 10.1%増

**営業損失（前年は営業損失△411百万円）**

- ・人件費調整、家賃交渉によりコスト削減をしたことにより、営業損失は改善

**経常利益（前年は経常利益△277百万円）**

- ・時短協力金・雇用調整助成金等により経常利益は大幅増益

（単位：百万円）

	2021年7月期		2022年7月期			
	2Q実績		2Q実績		前期比	
	金額	売上比	金額	売上比	対前年同四半期 増減率	増減額
売上高	4,430	100.0%	<b>4,877</b>	<b>100.0%</b>	10.1%	447
営業損失（△）	△411	—	△ 285	—	—	126
経常利益	△277	—	<b>745</b>	<b>15.3%</b>	—	1,022
親会社株主に帰属 する四半期純利益	825	18.6%	<b>478</b>	<b>9.8%</b>	△42.1%	△ 347

# 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2021年7月期 2Q		2022年7月期 2Q				増減要因
	実績		実績		前年比		
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	前年比	
売上高	4,430	100.0%	<b>4,877</b>	<b>100.0%</b>	447	110.1%	
レストラン事業	4,209	95.0%	<b>3,879</b>	<b>79.5%</b>	△330	92.2%	新型コロナウイルスの影響による減収
バッドロケーション	1,322	29.9%	<b>1,254</b>	<b>25.7%</b>	△68	94.8%	
不動産デベロッパー	1,966	44.4%	<b>1,748</b>	<b>35.9%</b>	△217	89.0%	
行政・公共機関	681	15.4%	<b>656</b>	<b>13.5%</b>	△25	96.3%	
大学・その他	147	3.3%	<b>127</b>	<b>2.6%</b>	△19	86.7%	
その他	91	2.1%	<b>92</b>	<b>1.9%</b>	0	100.5%	
EB事業	220	5.0%	<b>997</b>	<b>20.5%</b>	777	453.1%	大阪府中央区の販売用不動産売却
売上原価	1,222	27.6%	<b>1,609</b>	<b>33.0%</b>	386	131.6%	販売用不動産の取得原価
売上総利益	3,207	72.4%	<b>3,267</b>	<b>67.0%</b>	60	101.9%	
販売費及び一般管理費	3,619	81.7%	<b>3,553</b>	<b>72.8%</b>	△65	98.2%	
人件費	1,536	34.7%	<b>1,485</b>	<b>30.5%</b>	△51	96.7%	
地代家賃	503	11.4%	<b>522</b>	<b>10.7%</b>	19	103.9%	
減価償却費	266	6.0%	<b>206</b>	<b>4.2%</b>	△60	77.4%	
水道光熱費	239	5.4%	<b>245</b>	<b>5.0%</b>	5	102.3%	
その他	1,072	24.2%	<b>1,093</b>	<b>22.4%</b>	20	101.9%	
営業損失	△411	—	<b>△285</b>	—	126	—	
営業外収益	173	3.9%	<b>1,055</b>	<b>21.6%</b>	881	609.0%	時短協力金・雇用調整助成金等
営業外費用	39	0.9%	<b>24</b>	<b>0.5%</b>	△14	62.4%	
経常利益	△277	—	<b>745</b>	<b>15.3%</b>	1,022	—	
特別損益	1,536	34.7%	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	△1,537	—	
税金等調整前四半期利益	1,259	28.4%	<b>744</b>	<b>15.3%</b>	△514	0.6%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	825	18.6%	<b>478</b>	<b>9.8%</b>	△347	—	

## セグメント別業績ハイライト

2022年7月期より、既存の「レストラン事業」と区分すべき不動産事業、地方創再生プロジェクトに該当する不動産事業及び店舗運営等に付随する事業について報告セグメントを分けて開示しております。

(単位：百万円)

	2021年7月期 2Q 実績	2022年7月期 2Q実績	増減額	対前年同四半 期増減率		2021年7月期 2Q 実績	2022年7月期 2Q実績	増減額	対前年同四半 期増減率
売上高	4,430	<b>4,877</b>	<b>447</b>	<b>10.1%</b>	営業利益	△411	△285	<b>126</b>	—
レストラン事業	4,257	<b>3,932</b>	△325	△7.6%	レストラン事業	△467	△557	△89	—
EB事業	220	<b>997</b>	<b>777</b>	<b>353.1%</b>	EB事業	55	<b>271</b>	<b>216</b>	<b>389.0%</b>
セグメント間の 内部売上高 または振幅高	△47	△52	△4	—					

### レストラン事業

#### 【事業内容】

国内外食事業、EC事業、その他コンサルティング事業

#### 【売上高・営業利益】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴う店舗売上の減少
- ・EC事業、テイクアウト&デリバリーは堅調に推移

### EB事業

#### 【事業内容】

当社所有の販売用土地及び建物等の不動産又は権利における出店、賃貸、売買、コンサルティング、株式投資等に付随する事業

#### 【売上高・営業利益】

- ・大阪府中央区の販売用不動産を売却
- ・淡路島「Frogs FARM」において、国内旅行やワーケーション需要など多様なニーズを獲得

## 2022年7月期 第2四半期出退店

(退店)

■レストラン事業 アリンコ イクスピアリ店・パラディ イクスピアリ店

(転貸)

■レストラン事業 クッチーナカフェオリーヴァ

※「\*」の店舗は報告セグメントの区分変更に伴う退店（EB事業へ移動）

(単位：店舗数)

	2019年7月末	2020年7月末	2021年7月期上期		2021年1月末	2021年7月期 下期		2021年7月末	2022年7月期上期		2022年1月末
			出店	退店		出店	退店		出店	退店	
<b>バッドロケーション</b>	33	33	1	—	34	2	—	36	—	3*	33
関東地区	23	23	1	—	24	—	—	24	—	—	24
関西地区	8	8	—	—	8	2	—	10	—	3*	7
その他地域	2	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2
<b>不動産デベロッパー</b>	37	38	1	2	37	—	—	37	—	3	34
関東地区	25	23	1	2	22	—	—	22	—	3	19
関西地区	12	13	—	—	13	—	—	13	—	—	13
その他地域	—	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2
<b>行政・公共機関</b>	11	11	—	—	11	1	—	12	—	—	12
関東地区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関西地区	10	10	—	—	10	1	—	11	—	—	11
その他地域	1	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1
<b>大学・その他</b>	8	9	1	2	8	—	1	7	1	1*	7
関東地区	1	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1
関西地区	5	6	—	2	4	—	—	4	—	—	3
その他地域	2	2	1	—	3	—	1	2	1	1*	3
<b>EB事業</b>	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—	6
関東地区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関西地区	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—	6
その他地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
<b>合計</b>	89	91	3	4	90	2	—	92	7	7	92

純資産増に伴い、自己資本比率は前年同四半期より4.3ポイント増加。  
有利子負債依存度は短期借入金増加により52.5%

(単位：百万円)

	2021年7月期 2Q		2022年7月期 2Q				主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
流動資産	4,097	49.0%	4,458	51.3%	361	8.8%	
現金及び預金	2,301	27.5%	2,705	31.2%	403	17.6%	
販売用不動産	1,051	12.6%	1,039	12.0%	△ 11	△1.1%	
固定資産	4,269	51.0%	4,226	48.7%	△ 42	△1.0%	
有形固定資産	2,787	33.3%	2,784	32.1%	△ 3	△0.1%	
無形固定資産	378	4.5%	373	4.3%	△ 4	△1.3%	
投資その他の資産	1,103	13.2%	1,068	12.3%	△ 34	△3.2%	
資産合計	8,366	100.0%	8,685	100.0%	318	3.8%	
流動負債	3,254	38.9%	3,695	42.6%	441	13.6%	短期借入金の増加
固定負債	2,889	34.5%	2,320	26.7%	△ 569	△19.7%	長期借入金の返済
負債合計	6,144	73.4%	6,016	69.3%	△ 128	△2.1%	
資本金	425	5.1%	430	5.0%	5	1.2%	
資本剰余金	773	9.2%	778	9.0%	5	0.7%	
利益剰余金	1,077	12.9%	1,513	17.4%	435	40.4%	
自己株式	△172	—	△172	—	0	0.0%	
非支配株主持分	118	1.4%	119	1.4%	1	0.9%	
純資産合計	2,222	26.6%	2,669	30.7%	445	20.1%	
負債・純資産合計	8,366	100.0%	8,685	100.0%	318	103.8%	
有利子負債	4,566	54.6%	4,555	52.5%	△10	△0.2%	

税前利益の増加及び減価償却費の増加により、営業活動によるキャッシュ・フローは660百万円  
淡路島における出店のみであるため、支出額は減少し投資活動による支出は減少

(単位：百万円)

	2021年7月期	2022年7月期		コメント
	2Q実績	2Q実績	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	34	660	626	
(主な内訳)	0	0	0	
税金等調整前四半期純利益	1,259	744	△ 514	
固定資産売却益	△ 1,655	217	1,872	
店舗閉鎖損失	39	0	△ 39	
関係会社株式売却損	82	0	△ 82	
販売用不動産の増減額	△ 150	1	152	淡路島で取得した販売用不動産（振替を含む）
助成金収入	△ 149	△ 1,043	△ 893	
法人税等の還付額	121	0	△ 121	
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,098	△ 213	△ 2,311	
(主な内訳)	0	0	0	
有形固定資産の売却による収入	2,266	4	△ 2,261	
差入保証金の差入による支出	19	7	△ 11	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,224	△ 43	1,180	
(主な内訳)				
短期借入金の増減	—	600	600	
長期借入金の増減	△ 1,040	△ 563	477	長期借入金の返済による支出563百万円
自己株式の取得による支出	△ 79	0	79	
現金及び現金同等物の増減額	908	403	△ 505	
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,685	2,301	△ 383	

## 季節変動の状況

- ・テラス稼働率の高い第1四半期（8月～10月）と第4四半期（5月～7月）に利益が偏る傾向
- ※ただし、ここ数年の天候状況から鑑みると9,10月に大型台風が発生する可能性が高まっている。

## 当第2四半期の状況

- ・不安定な外的状況に対するきめ細やかな店舗運営により業績の堅調な推移
- ・EB事業における販売用不動産の売却
- ・助成金収入により経常利益は大幅増益

(単位：百万円)

	2021年7月期								2022年7月期			
	1Q実績		2Q実績		3Q実績		4Q実績		1Q実績		2Q実績	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	2,530	100.0%	1,899	100.0%	1,814	100.0%	1,801	100.0%	2,531	100.0%	2,346	100.0%
営業利益又は 営業損失 (△)	△58	—	△353	—	△369	—	△431	—	△153	—	△132	—
経常利益	69	2.7%	△346	—	△222	—	△122	—	305	12.1%	439	18.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,069	42.2%	△243	—	△139	—	△328	—	200	7.9%	277	11.8%



## 2022年7月期通期業績は、売上高24.3%増 親会社株主に帰属する四半期純利益は300百万円を予想

- ・既存店の業績の堅調な推移及び店外販売商品の強化により売上高は前期比24.3%増を予想
- ・アフターコロナへの対応として、固定費の削減ならびに店舗運営子会社ごとの適切かつきめ細やかなオペレーションの実施により営業利益は赤字回避を予想

(単位：百万円)

	2021年7月期				2022年7月期							
	2Q実績		通期実績		2Q実績				通期予想			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	前期比	増減額	金額	売上比	前期比	増減額
売上高	4,430	100.0%	8,046	100.0%	<b>4,877</b>	<b>100.0%</b>	<b>110.1%</b>	<b>447</b>	10,000	100.0%	124.3%	1,953
営業利益又は営業損失 (△)	△411	—	△1,212	—	△ <b>285</b>	—	—	<b>126</b>	0	0.0%	—	1,212
経常利益	△277	—	△622	—	<b>745</b>	<b>15.3%</b>	—	<b>1,022</b>	500	5.0%	—	1,122
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	825	18.6%	357	4.4%	<b>478</b>	<b>9.8%</b>	<b>57.9%</b>	△ <b>347</b>	300	3.0%	83.8%	△ <b>57</b>

# 2022年7月期 上期トピックス



BALNIBARBI

## ① 報告セグメントの変更

- ・ 2022年7月期より既存の「レストラン事業」と区分すべき不動産事業、地域創生プロジェクトに該当する不動産事業及び店舗運営等に付随する事業について、「エステートビルド アップ事業（EB事業）」として、独立した報告セグメントとして開示

## ② 代表取締役の異動及び役員人事の変更

- ・ 2021年11月より代表取締役2名の新体制へ移行。各役員一人一人の特性・個性を生かし適材適所への配置、更に新たな社外取締役も加わり、他分野の専門知見・アドバイスをいただきながらより一層の成長とガバナンス強化を図る。

## ③ 販売用不動産の売却

- ・ 大阪市中央区の販売用不動産を売却。新たに独立した報告セグメントであるエステートビルドアップ事業に計上

## ④ 淡路島西海岸「Frogs FARM」の推進

- ・ 淡路島水産会社との共同運営により、当社初業態となる回転すし店を8月にオープン、10月には地域と繋がるコミュニティカフェ&バーとして「酒場ニューライト」を新たにオープン。

## ① レストラン事業

バッドロケーション戦略におけるバッドロケーションエリア、不動産デベロッパーエリア、行政・公共機関エリア、大学・その他エリア及びその他の事業における従来のレストラン事業として区分すべき店舗運営に付随する事業

### 直営店舗

#### ■ ロケーション

恵まれた周辺環境を店舗デザインに統合的に取り込むことで、レストランとして気持ちのいい空間を創造します。

#### ■ 店舗の特徴

特定のメニューへの依存度が低く、様々な用途に対応できるプランニングにより、経済環境の変化に強い安定した店舗づくりを行っています。



### イーコマース (EC) サイト

#### ■ オンラインの販売チャンネル

“食卓に彩りを添える特別な一品”をテーマに、ECサイトを開設。総料理長監修のミールキットやオリジナルスイーツなどを販売

#### ■ オフラインとのシナジー創出

店舗が開発したオリジナルのミールキットなどを積極的にオンメニューし、オンラインオフラインでの相乗効果を狙う。



### その他

#### ■ コンサルティング

企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェやレストランの企画・開発等のコンサルティング

#### ■ 飲食事業での独立を目指すもののプラットフォーム

パーソナリティを尊重した飲食店経営者の輩出プラットフォームを設立。単なるのれん分けではなく、当社の持つリソースを活用した店舗展開が可能。



## ②エステートビルドアップ事業

当社所有の販売用土地及び建物等の不動産又は権利における出店、賃貸、売買、コンサルティング、株式投資等に付随する事業

### レストラン・宿泊

■食をベースに統合的なエリア開発  
バッドロケーション戦略における出店で培ったノウハウや知見を元に、食をベースに統合的なエリア開発を推進。

淡路島西海岸においては2019年春の地産地消を味わうレストラン開業を皮切りに、滞在することで美しい自然や島の暮らしを体感する宿泊施設、広い空と海に囲まれた場所でBBQを楽しむアウトドアパーク、淡路素材を使った中華そば店、地場水産会社との共同運営の回転寿司店を3ヘクタールの敷地にてファンドを活用して街全体のエリア開発を進行中。



### 不動産売却

■エリア活性・不動産開発を目的としたパートナーシップ  
不動産価値向上を目的としたアライアンスによるファイナンススキームとして、不動産SPC（特別目的会社）による出店を行う。

淡路島西海岸においては、淡路島のエリア不動産開発を目的に、開発資金拠出を企図しNECキャピタルソリューション株式会社と不動産SPCを設立。地域活性化のノウハウを活かした金融面からのサポートをもらいながら連携する。



## ②組織変更

2021年11月より代表取締役2名の新体制へ移行。各役員一人一人の特性・個性を生かし適材適所への配置、更に新たな社外取締役も加わり、他分野の専門知見・アドバイスをいただきながらより一層の成長とガバナンス強化を図る。



代表取締役会長 佐藤 裕久

1961年8月生まれ  
京都市上京区出身

神戸市外国語大学英米語学科中退、1991年バルニバービ設立、代表取締役に就任。近年は淡路島をはじめ、食を切り口に地方創生に取り組む。著書に『一杯のカフェの力を信じますか？』（河出書房新社）『日本一カフェで街を変える男』（グラフ社）がある。



代表取締役社長 安藤 文豪

1979年7月生まれ  
東京都世田谷区出身

2006年（株）ラヴィール設立。2009年バルニバービのスイーツ事業を手掛ける子会社に入社後、店舗運営子会社代表や取締役を歴任。2016年（株）バルニバービ常務取締役COO営業本部長に就任、2021年11月より現職。

## ③販売用不動産の売却

大阪府中央区の販売用不動産を売却。当該売却に関しては2022年7月期から新たに独立した報告セグメントであるエステートビルドアップ事業に計上。

### ■販売用不動産の内容

所在地・内容：大阪府中央区 土地・建物

敷地面積：約333㎡

床面積：約711㎡

### ■契約日及び引渡し日

売買契約締結日 2021年10月18日

物件引渡し日 2021年10月28日

#### ④淡路島西海岸「Frogs FARM」の推進

8月には淡路島水産会社「森水産」様との共同運営により、当社初業態となる回転すし店「淡路島 回転すし 悦三郎」を、10月には地域と繋がるコミュニティカフェ&バーとして「酒場ニューライト」をオープン。観光客にとってはもちろん、地域住民も楽しめる夜の賑わい創出を担う。



# 今後の成長戦略



BALNIBARBI



① 新・事業戦略「イノベーティブシナジー戦略」の推進

② 地方創再生プロジェクトの取組 – Frogs FARM ATMOSPHERE 他

③ 新たな店舗外売上の創出

## 成長戦略の基本方針 「食から始まる日本創再生」

### レストラン事業 (バッドロケーション戦略)

- ・“バッド”ロケーションの発掘・開拓
- ・自然環境を取り込むデザイン・企画力
- ・店舗運営子会社によるオペレーションナレッジ

### エステートビルドアップ (EB) 事業 (バッドロケーションデベロッパー戦略)

- ・“バッド”ロケーションの発掘・開拓
- ・自然環境を取り込むデザイン・企画力
- ・店舗運営子会社によるオペレーションナレッジ
- ・不動産価値向上を目的としたアライアンスによるファイナンススキーム



バッドロケーション戦略における出店で培ったノウハウや知見を元に、  
地方創生を軸としたエリア開発

開発エリアの不動産価値を高める「イノベティブシナジー戦略」を推進

②イノベティブシナジー戦略— エステートビルドアップ事業の推進 淡路島西海岸「Frogs FARM」



## ②地方創再生プロジェクト：Frogs FARM ATMOSPHERE（兵庫県淡路島）



2019 1st stage 4月27日 OPEN GARB COSTA ORANGE

2020 2nd stage 7月23日 OPEN KAMOME SLOW HOTEL

2021 3rd stage

**A** 酒場  
ニューライト

10月12日 OPEN 酒場 ニューライト

エリアの姿を楽しむ「酒場」がオープン。  
宿泊ゲスト、淡路島の島民の方も、幅広くご利用頂ける新たなスポット。店内にはカラオケや  
カウンター席・ソファ席などもレイアウトされ、シーンに合わせて楽しめる。

**B-1**

PICNIC GARDEN  
Picnic, BBQ, Hamburger,  
Drink, Sweets & Smile

4月26日 OPEN

PICNIC GARDEN & promenade

ピクニック ガーデン & 散歩道

※昼食時 10000 MORNING BURGER / Lemonade SHIMA-LEMON あり。

眼前に広がる瀬戸内海を眺めながら、生産者誕生の上で過ごす特別な時間。家族と、子供と  
仲間たちと、妻夫と過ごせる贅沢な空間。  
都会の喧騒を忘れその日の気分や用途に合わせて楽しめる「PICNIC」&「BBQ」。  
ファイアスペース・氷室（スペースなどのコンテナースペース）もあり、食事の合間にお楽しみ  
頂けます。また、当施設は大型トラックの通行量が多い幹線道路沿いに位置しており、  
安全に歩ける歩道もなく周遊するには整備がまだまだできていないエリアです。  
このような中、当社の私有地内にも誰もが安心、安全に歩ける、自由に利用できる散歩道の設置  
を致しました。植栽・造園デザインプロデュースには西藤清嗣氏を迎え、散歩道沿いにはレ  
モネードショップやハンバーガーショップが立ち並び、テイクアウトもお楽しみ頂けます。

**B-2**

Lang  
snack, cafe, dinner & lounge bar

2022年  
3月12日 OPEN

Long (PICNIC GARDEN 内)

ロング (ピクニック ガーデン内)

日が沈んだあとの海を目の前に、静寂な海・遊覧を鑑みながら夜空の中の月夜を楽しむ  
全長 25mの全天候型レストラン/バー。

**C**

中華そば  
いのうえ

6月30日 OPEN

中華そば いのうえ

ラーメン店

快活にきたら立ち寄るだけでも価値があるラーメン屋台が誕生。ファサードにはシンボリック  
な提灯が設置される。店舗デザインはGLAMOROUS co.,ltd 代表/デザイナー 森田恭彦氏。

**D**

淡路島 回転すし  
悦三郎

8月14日 OPEN

淡路島 回転すし 悦三郎

淡路島水産会社「鮮水産様」との共同運営によりオープンした回転すし店。  
淡路の水産物をフルに活かしたお寿司を提供し、元々あった古民家素材を活かしたお洒落な  
インテリア。

**E**

Sustainable Cottage  
KAMOME SLOW HOTEL

3月15日 OPEN

KAMOME SLOW HOTEL  
Sustainable Cottage

カメスローホテル  
サステイナブル  
コテージ

快適な家内環境と年間消費する住宅のエネルギー量が正味で概ねゼロ以下を同時に実現する  
S-ZEH研究会にて企画・開発された住宅を取得。再エネを活かした自給自足の機能を備えた  
サステイナブル建築物の宿泊体験を通して、普及促進する。

**F**

Lazy Inn.

7月22日 OPEN

Lazy Inn

レイジーイン [カフェ&ヴィラ]

移動型グランピング施設「The Caravan」がプロデュースする最新のカフェ&ヴィラエリアが淡  
路島に誕生。  
様々な環境での多彩な演出・おもてなしにより某ホテル誌誌でも話題の彼らの常設型新拠点。  
淡路島の臨海な環境で、最新のグランピングスタイルを体験できる。

**G**

SAKIA  
Promoting  
ART & CULTURE

2022年  
3月22日 OPEN

旧尾崎小学校跡 SAKIA

尾崎小学校施設用地等活用事業債にて移住され、  
地域の子供たちへの学びの場と、ワーケーション活用を通じた移住のきっかけ作りとなる  
場所を創出する。  
小学生が無料で利用できる図書室や、付帯するカフェ、料理教室、地域のイベントスペースと  
しての提供に加え、コロナ禍における地方でのワーケーションスタイルを価値提案する。

## ② 「Frogs FARM」 に誕生する食とアートの複合施設

### ● 兵庫県淡路市「旧尾崎小学校施設用地等利活用事業」最優秀候補者選定に伴う廃校施設のリノベーション開発と新規出店計画のお知らせ

このたび出店する旧尾崎小学校施設用地は、小学校の校舎と地域住民の生涯学習の場として活用されていた公民館で構成された約 6,800 ㎡のエリアで、淡路島内における小学校の統廃合により民間活力により利活用が望まれている遊休施設です。淡路島の魅力を「広く発信すること」「島内外で融合させること」「伝統を守ること」をテーマに、淡路島の活性化と未来を切り拓く拠点となる食とアートの複合施設として様々なコンテンツを創出いたします。

#### ● 出店概要

店舗名：サキア

所在地：兵庫県淡路市尾崎1798番地3他

出店面積：約6,800㎡

出店日：2022年3月から順次



## ②地方創再生プロジェクトの取組：出雲エリア開発プロジェクト（島根県出雲市）

### SBIホールディングス株式会社、株式会社島根銀行との島根県内における地方創生事業に関する基本合意のお知らせ

当社は、SBIホールディングス株式会社及び株式会社島根銀行との間で、土地開発・建物建設による地方創生及び地域の経済活性化に向けた事業を推進することに関する基本合意書を締結いたしました。

淡路島の「Frogs FARM」に続き、島根県内における地方創生事業として、当社が「Frogs FARM」で培ったノウハウを活用し、本プロジェクトの総合的なプロデュースを行い、SBIホールディングス社が本プロジェクト実現のために設立予定の特定目的会社への出資を行い、島根銀行が本プロジェクト推進に必要な事業資金の支援を行ってまいります。本プロジェクトを通じて、SBIホールディングス社、島根銀行及び地元企業とも連携しながら、島根県における地方創生の取り組みを加速化させてまいります。



## 石川県羽咋郡「宝のなぎさ交流促進事業」（千里浜なぎさドライブウェイ）公募型プロポーザル事業者選定及び出店に関する基本合意を締結

砂辺を活かした新たな交流拠点を創出した施設を整備し、誘客促進を図ることを目的に石川県羽咋郡宝達志水町が主催した「宝のなぎさ交流促進事業開発事業者募集」において、当社のこれまでの実績が評価、出店が決定。第一期として、当社のフラッグシップ店舗を象徴するシグネチャーブランドである「GARB」を冠した「GARB onborart」を出店いたします。広大な日本海を借景に、ゆったりとした時間を過ごすことができるカフェ&レストランとして、能登野菜や特産水産品にこだわったメニューを提供いたします。第二期としては「宿泊・過ごす、そしてつながり、継続する」を形にしていくプロジェクトとして、宿泊施設を計画しております。アフターコロナにおける地域活性の未来に向けて、北陸地方でもバルニバービの地方創再生プロジェクトを始動します。

### ● 出店概要

店舗名：GARB onborart

所在地：石川県羽咋郡宝達志水町今浜ソ1-25

出店面積：約 1,490 m<sup>2</sup>  
(開発総面積 約 15,810 m<sup>2</sup>予定)

出店日：2024年秋から順次



## 2021年

### 8月

淡路島回転すし 悦三郎[兵庫県淡路市]

食を通じた地方創再生プロジェクト「Frogs FARM」

### 10月

酒場ニューライト[兵庫県淡路市]

食を通じた地方創再生プロジェクト「Frogs FARM」

田代スープステーション・ぶなキッチン[新潟県魚沼群]

かぐらスキー場における冬季期間限定出店

## 2022年

### 3月

全天候型レストラン&バー「Long」[兵庫県淡路市]

食を通じた地方創再生プロジェクト「Frogs FARM」

サキア [兵庫県淡路市]\*

兵庫県淡路市「旧尾崎小学校施設用地等利活用事業」の公募型プロポーザル

(オサキ食堂 カフェテラス、サトヤマデスク、ローカル湯種パン しまのねこ)

## 2023年

### 春

出雲エリア開発プロジェクト [島根県出雲市]

SBIホールディングス、島根銀行との島根県内における地方創生事業

## 2024年

### 秋

GARB onborart [石川県羽咋郡宝達志水町]

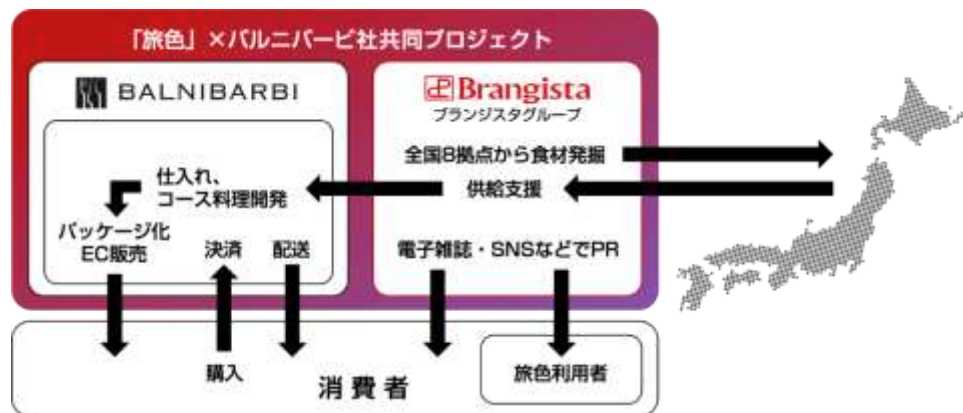
石川県羽咋郡「宝のなぎさ交流促進事業」の公募型プロポーザル

\*サキアはグループ店舗数にカウントしておりません。  
※2022年3月22日現在開示しているプロジェクトのみ記載しております。



### ③新たな店舗外売上の創出：WEBメディア「旅色」とバルニバービの地域活性化共同プロジェクト

無料で読める電子雑誌を発行する株式会社ブランジスタメディアが発行する旅行電子雑誌「旅色」と日本全国における地方食材の発掘、商品開発により地域活性化を行う共同プロジェクト「TRAVELING DISH ACTION」を始動。第一弾は島根県出雲市の食材をつかったコースを2021年12月27日（月）より販売。今後コロナ禍において「おうちごはん」「お取り寄せ」人口が急増しているなか、地域に滞在することなく、地域に触れ、地域の魅力を食すコース料理を味わうことにより、新しい旅体験と地方への関心を訴求してまいります。



独自の仕入れネットワークを活かした各地域の食材発掘、及び総料理長監修による地域の食材を活用したコース料理の開発、を行い、当社運営のECサイト「CANDLE TABLE」にて販売



日本全国の観光地の情報や自治体とのネットワークを活用し、コース料理に使用する食材の発掘・供給支援を行うとともに、電子雑誌やSNS、読者コミュニティなどを活用したPRを実施

# 株主還元について



BALNIBARBI

## ●配当について

2021年7月期は中間配当を1株当たり2.5円の普通配当、期末配当は1株当たり5円の普通配当を実施いたしました。

2022年7月期につきましても、中間配当を1株当たり2.5円、期末配当を1株当たり5円の普通配当を予定しております。

## ●株主優待制度について

毎年7月末日または1月末日現在の当社株主名簿に記載された、当社株式100株以上を保有される株主様を対象に株主優待を導入しております。

### ①全ての株主様を対象としたご優待

当社グループ全店でご利用いただける株主様お食事ご優待券またはバルニバービオリジナル商品のいずれかを贈呈します。

ご所有株数	ご優待内容
100株以上 200株未満	株主様お食事ご優待券 ¥ 1,000
200株以上 600株未満	株主様お食事ご優待券 ¥ 2,000 もしくは バルニバービオリジナル商品のいずれかを1つ
600株以上	株主様お食事ご優待券 ¥ 4,000 もしくは バルニバービオリジナル商品のいずれかを2つ

### ②長期保有株主様を対象としたご優待

継続保有株数に応じたステイタス「Salon BARBIES」カードを発行し、当社グループ店舗でのご利用金額の割引や、限定コースの特別価格でのご優待などの特典を導入しております。そのほか、自社主催の抽選会（※）や株主様限定イベントの開催なども予定しております。

名称	条件	ご優待内容
ブロンズ	1年以上継続して200株以上保有 半年以上継続して600株以上保有	割引 3%
シルバー	3年以上継続して200株以上保有 1年以上継続して600株以上保有	割引 5% 限定コース割引
ゴールド	3年以上継続して600株以上保有 2年以上継続して1,000株以上保有	割引 10% 限定プレミアムコース割引 花火大会特別鑑賞席優先予約 (先着20名、通常料金)

※ 抽選につきましても、毎年12月と6月に応募形式で開催いたします。

対象となる株主様は毎年7月末日、1月末日現在の株式名簿に記載された当社株式500株以上を保有されている株主様となります。

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は現時点で入手可能な信頼できる情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものでありますが、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なることが起こりえます。

## IRに関するお問い合わせ

株式会社バルニバービ 経営管理部

TEL06-4390-6544  
Email: [ir@garb.co.jp](mailto:ir@garb.co.jp)



BALNIBARBI